

総評

国語が易しかったことを除き、どの教科も標準的な難易度の出題でした。

数学や社会や理科では、小学校の学習内容を忘れていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をよりくわしく調べたり、深めたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくする機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、受験した価値があるのです。

国語

易しい出題でした。

㊦は「水準」の書きと問二の誤字訂正の得点率が低くなりました。小学校で習った漢字は、高校入試はもちろん、今後生活していく上でも必要なものです。忘れないように復習しておきましょう。㊧は、資料(表とグラフ)を読み取る力とそこから読み取れることを表現する力が問われます。国語にもしばしば、表・グラフの読み取りや、割合が出てくる問題が出題されます。わからない人は、算数も復習しておきましょう。㊨はよくできていますが、㊩は難しかったようです。実験で調べようとしている内容とその結果をおさえながらも一度読んでみましょう。問四は、「箸」と「得点」を使わずに書く必要があります。問題であたえられた条件を見落とさないように注意しましょう。

数学

難しい問題もいくつか出題されましたが、よくできています。

①はどれも、必ず身につけたい基本的な問題です。底辺や高さのわからない三角形の面積は、図形を分割したり、四角形から余分な図形をとりのぞいたりすると求められます。中学校でもよく使うのでマスターしましょう。②～④は、規則性や比例、データの活用など、中学校1年生の学習に直接つながる内容を中心に出题しました。易しくはありませんが、理解を深めることのできる問題ばかりです。中学校1年生の学習をスムーズに進めるため、もう一度挑戦してみましょう。

⑤と⑥は応用問題です。重要なのは、問題の見方や考え方です。解説をよく読んで、考え方のパターンを増やしていきましょう。必ず実力アップにつながります。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、②問4が難しかったようです。特に、(1)では誤った海流の名を書いたり、無記入の答案が多くみられました。海流や河川、山地の名などは、正しくおぼえましょう。

歴史分野では、④問3がとても難しかったようです。「領事裁判権を回復する」「関税自主権を得る」のような誤った答案が多くみられました。不平等条約の改正については、中学校のテストでもよく出題されます。まちがえた人はしっかりと復習しましょう。

公民分野では、⑤問1(3)、⑥問3(2)が難しかったようです。国民の祝日や衆議院・参議院の任期などは、あいまいにおぼえている人が多いのではないのでしょうか。まちがえた人は問題をよく見直しましょう。

理科

標準的な出題でした。5年生、6年生で学習した内容が多く出題されていましたが、忘れていたり、休校になった影響で十分に身につけていなかったりしたこともあったと思います。中学で学習する内容には、小学生内容が基本となっていることが多くあります。まちがえたところはしっかりと復習しておきましょう。

①は全体によく出来ていたようです。②は、問3と問4の得点率がやや低くなりました。それぞれの臓器のはたらきを確認してください。⑤は、問2の計算問題が難しかったようです。てこが水平になったときは、皿の重さもふくまれることがポイントでした。⑦は、基本的な内容が多く出題されていましたが、4年生の内容でしたので、忘れていたことが多かったかもしれません。⑧は、問2と問4がとても難しかったようです。

英語

全体としてはやや難しい出題でした。小学校の復習ということでしたが、学校での英語の学習状況に差があり、とくに英語の「書き」については、あまり学習してこなかったという人も多いかもしれません。これから中学校で英語を学んでいくにあたり、英語を書くことは重要です。「読み」や「書き」にも積極的に取り組んでいくようにしましょう。一方で、得点率が80%以上になった問いも見られ、英語の問題を解くことにも少し慣れてきたのではないのでしょうか。

全体に、記述式の問題は得点率が低いものが多くなりました。②問6では、Can you ~?の意味を理解できているかが問われました。「～に行きましょう」と、Let's ~の訳のように書いている答案も多くありました。1つ1つの部分を丁寧に訳すように心がけましょう。